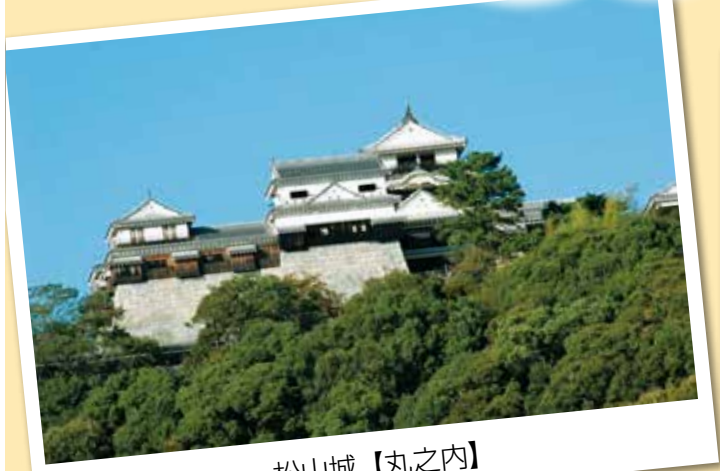


# まつやまの大切にしたい 景観100選決定!

豊かな自然風景や貴重な歴史的・文化的資源が多くある松山の素晴らしさを再認識し、愛着と誇りをより深めるため、市民の皆さんから応募のあった建物や風景の中から、共に守り育てていきたい景観100カ所を「まつやまの大切にしたい景観100選」として選びました。



松山城【丸之内】



坊っちゃん列車と松山城  
【二番町四丁目 (市役所前乗り場付近)】



大街道・銀天街商店街【大街道・湊町】

**番町地区  
(13カ所)**  
史跡や文化施設、商業施設、官公庁など主要機関が多い市の中心部です。



松山城 登城道の風景  
【丸之内 (二之丸黒門登城道)】



松山城 近景 (乾門外から見上げた風景)  
【堀之内 (古町道途中)】



城山公園  
【堀之内】



松山城 天守からの風景  
【丸之内 (天守から)】



春の山頂広場  
【堀之内 (山頂広場)】



萬翠荘  
【一番町三丁目】



路面電車 (坊っちゃん列車)  
【市内中心部】



松山城 遠景 (二之丸と重なる風景)  
【堀之内】



お堀と松山城の風景  
【南堀端町 (伊予銀行本店前付近)】



商店街裏路地の風景【湊町三丁目】

※その他地区は、広報まつやまで順次掲載予定。詳しくは市ホームページや市の都市計画情報サイト「e～よまちナビ」の観光情報タブをご覧ください  
閩都市デザイン課  
☎948-6518・FAX934-1807

閩道後温泉事務所 ☎9210101・FAX9343415

## 建物コンセプト

飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋です。中庭は、聖徳太子が詠ったといわれる「椿が生い茂っている当時の様子」をイメージし、本市の市花「つばき」の森を再現します。館内は開放的な大浴場と本館にはない露天風呂、皇室専用浴室の又新殿を再現した特別浴室を設け、「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語などを愛媛の伝統工芸と最先端のアートをコラボレーションした作品で飾ります。



大浴場 (男子・砥部焼)



エントランス (セライト和紙・和釘)



道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」完成予想図

詳細は、新しく開設した「道後温泉公式サイト」<http://dogo.jp>をご覧ください。新施設情報や道後温泉をPRする新たな動画なども楽しめます。  
二次元コード



「湯泉」の表現は、「古事記」「日本書紀」には「湯」「湯泉」「温湯」と示して、いずれも「ゆ」と読まれていたことから、きれいで源泉が湧き出ているイメージが伝わりやすい「湯泉」を使用しています。

道後温泉本館が「本館」と親しまれていることから、新施設は「別館」と位置付けることで、2つの施設を連携・対比できること、また「飛鳥乃湯泉」は596年の聖徳太子の来浴

や661年の齊明天皇の行幸などの物語が残る飛鳥の時代感を伝えたいと採用しました。

平成29年秋に開催される「えひめ国体」までの完成を目指している新たな温泉施設の名称が「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 (あすかのゆ)」に決定しました。

## 道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」

新温泉施設名称決定